事例No.	2583
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	平瀬川流域まちづくり協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・人材確保・育成 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

平瀬川流域まちづくり協議会

出典

平成27年度ふるさとづくり大賞事例集

株式会社地域新聞社　　千葉県船橋市

概　　要

「ちいき新聞」は，1エリア3万世帯前後という小さなコミュニティに向けて、手配り式フリーペーパーという形式で読者に地域情報を発信。地域住民である消費者が良い情報に出会い、飲食・物販・サービスなどを営む地域企業が成長することで、好循環を生み出し，地域を活性させることが目的。週１回発行。単独のポスティングにこだわり，到達率は平均で90%を超える。



評価された点

・継続した地道な活動であり、この事業が株式会社の事業として成り立っていることが大きな成果であり、地域あっての見本的な事例として評価すべきである。
・地道な取り組みで、出ては消える「フリーペーパー」とは一線を画している。地域での情報流通は地域の誇りを持つ上でも重要であり、地道な取り組みに敬意を表したい。
・「一度は行きたい、経験したい」地元のいいところランキングをはじめ、地域住民に自分たちの住む地域の魅力を再発見させる情報満載で、まさにその名のとおり、”地域の地域による地域のための”情報ツールとなっている。この30年で２万部から200万部にまで発行部数を伸ばしており、その継続性も高く評価される。



平瀬川流域まちづくり協議会　　神奈川県川崎市

概　　要

地域住民が立ち上がり、自治会等関係諸団体に呼び掛け、川の自然環境を取り戻し川を生かしたまちづくりをめざし、川の清掃や、鮎の放流、桜の植樹、水質・生態調査や観察会、地域の環境・歴史マップづくりなどに取り組んでいる。こうした活動に地域の小中学生も参加し、環境やまちづくりへの理解を深め、次世代を担う子ども達を育てる場ともなっている。



評価された点

・都市部での地域活動して、さまざまなプログラムを用意して多くの住民が参加できるように工夫した。また小中学生の参加も継続しており、今後の活動に期待できる。
・流域連携は防災意識の醸成に有効。全国で取り組める好事例。
・地域住民が主体的に勉強会を重ねながら行っている。平瀬川の自然環境を守る様々な活動は、年々参加者も増加し、持続可能なまちづくりに大きく貢献している。また、地域の子どもたちも参加することで、次世代を担う人材育成を行っている点も高く評価。

